

参考資料

山口県における情報教育の現状に関する調査結果

山口県教育研修所 情報教育部

山口県教育研修所では、平成12年度調査研究事業の一環として山口県の公立小・中・高等学校及び特殊教育諸学校の情報教育の現状を調査した。その概要及び結果は、以下のとおりである。

1 調査の方法

(1) 学校調査

山口県内のすべての公立小・中・高等学校及び特殊教育諸学校を対象にアンケートを実施した。実施期間は、平成12年9月18日から10月6日までで、質問紙は各市町村教育委員会を通じて（県立校は直接）配布した。回答にあたっては、各校の情報教育担当者に記入を依頼し、FAX、郵送等で回収を行った。

(2) 個人調査

山口県内のすべての公立小・中・高等学校及び特殊教育諸学校の教員（教頭・教諭・養護教諭等）の中から600人（全教員の4.9%）を抽出した。抽出にあたっては、各校種の教員数に応じて比例配分されるようにコンピュータによる無作為抽出を行った。調査期間は学校調査と同様であり、配布・回収も同じ方法で行った。

2 回収率

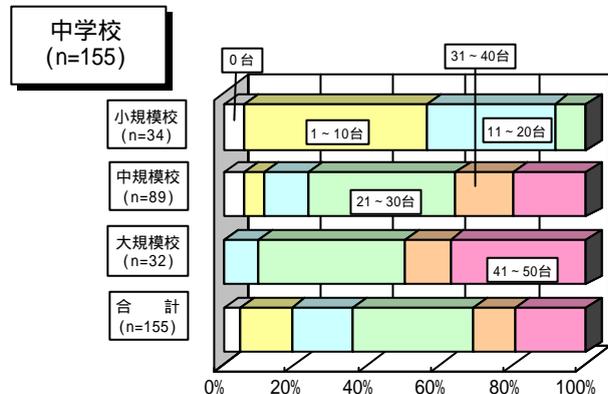
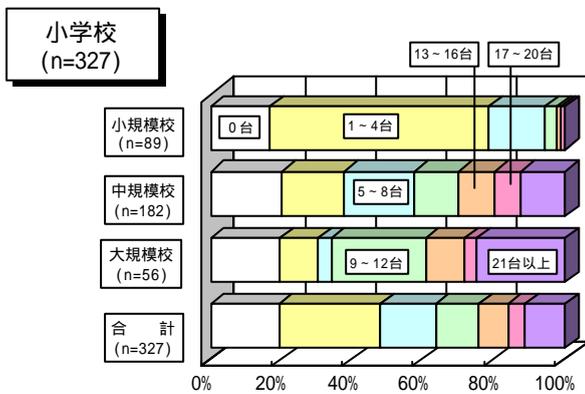
	学校調査回収率				
	小学校	中学校	高等学校	特殊教育諸学校	総合計
配布数	361	184	70	13	628
回収数	327	155	67	12	561
回収率	90.6%	84.2%	95.7%	92.3%	89.3%

	個人調査回収率				
	小学校	中学校	高等学校	特殊教育諸学校	総合計
配布数	238	161	159	42	600
回収数	215	134	145	36	530
回収率	90.3%	83.2%	91.2%	85.7%	88.3%

3 調査結果 (nは有効回答数)

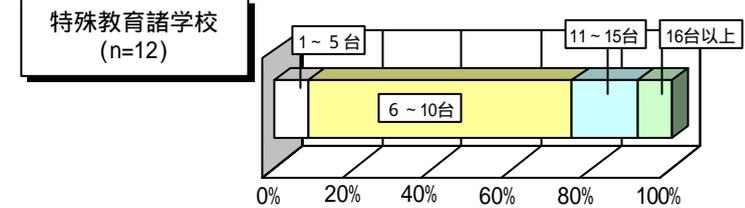
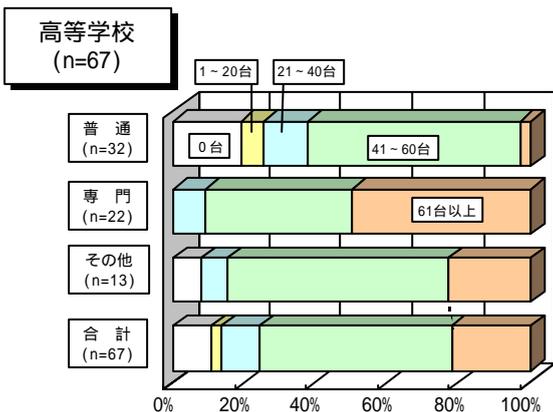
(1) インターネットが可能なコンピュータの保有台数 (学校調査)

インターネットが可能なコンピュータとは、MS-DOSやMSXなどの機種を除いたWindows95/98/Me、WindowsNT/2000、またはMacOS等のコンピュータを指す。必ずしもインターネットに接続されていることを意味しない。



**【小学校における学校規模の基準】**  
 小規模校：学級数が5学級以下の学校  
 中規模校：学級数が6学級以上で17学級以下の学校  
 大規模校：学級数が18学級以上の学校

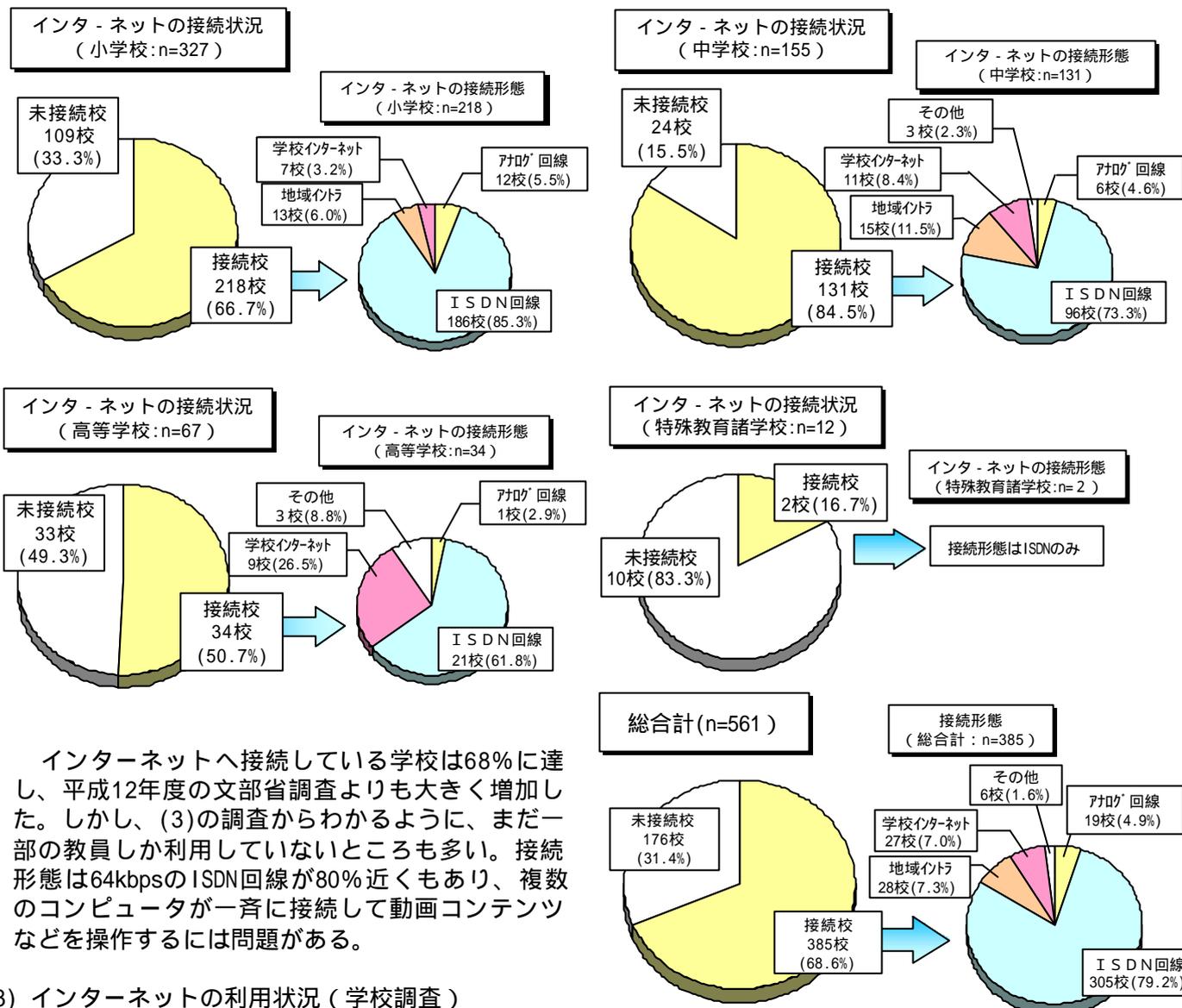
**【中学校における学校規模の基準】**  
 小規模校：生徒数が50人以下で、かつ学級数が3学級以下の学校  
 大規模校：生徒数が450名以上で、かつ学級数が15学級以上の学校  
 中規模校：上記以外の学校



**【高等学校における校種分けの基準】**  
 普通：普通科、理数科の高等学校  
 専門：商業・工業・農業等の専門高校  
 その他：単位制、総合学科、普通科と農業・食物・家政・看護科等の学科が混在する学校

- 児童生徒用のコンピュータの設置率は97%以上で、かなりの普及率である。しかし、これを学校規模別にみると、特に小学校の大規模校は、児童数に対して台数が不足気味である。また、インターネットに対応したコンピュータがない学校もあり、これからも整備に努める必要がある。

(2) インターネットとの接続状況 (学校調査)



- インターネットへ接続している学校は68%に達し、平成12年度の文部省調査よりも大きく増加した。しかし、(3)の調査からわかるように、まだ一部の教員しか利用していないところも多い。接続形態は64kbpsのISDN回線が80%近くもあり、複数のコンピュータが一斉に接続して動画コンテンツなどを操作するには問題がある。

(3) インターネットの利用状況 (学校調査)

